

リモート入出力 及び、リモートレジスタ割付表
Ver 2. 2

ヨシオ電子株式会社
作成：H.MIURA

2006/05/23

4CHサーモカップルマルチゲージコントローラー制御装置
(CCLT-M4)

占有局数：1局

リモート入出力「32点固定」

リモート→マスタ		マスタ→リモート	
デバイスNo.:	信号名称	デバイスNo.:	信号名称
RXn0	:CH1 実装/未実装	RYn0	:CH1 REMOTE ON/OFF
RXn1	:CH2 実装/未実装	RYn1	:CH2 REMOTE ON/OFF
RXn2	:CH3 実装/未実装	RYn2	:CH3 REMOTE ON/OFF
RXn3	:CH4 実装/未実装	RYn3	:CH4 REMOTE ON/OFF
RXn4	:CH1 ボードセレクト Bit0	RYn4	:CH1 MCT 1st/2nd
RXn5	:CH1 ボードセレクト Bit1	RYn5	:CH2 MCT 1st/2nd
RXn6	:CH1 ボードセレクト Bit2	RYn6	:CH3 MCT 1st/2nd
RXn7	:CH2 ボードセレクト Bit0	RYn7	:CH4 MCT 1st/2nd
RXn8	:CH2 ボードセレクト Bit1	RYn8	:CH1 アナログ閾値/移動平均選択
RXn9	:CH2 ボードセレクト Bit2	RYn9	:CH2 アナログ閾値/移動平均選択
RXnA	:CH3 ボードセレクト Bit0	RYnA	:CH3 アナログ閾値/移動平均選択
RXnB	:CH3 ボードセレクト Bit1	RYnB	:CH4 アナログ閾値/移動平均選択
RXnC	:CH3 ボードセレクト Bit2	RYnC	:CH1 接点出力(移動平均選択時のみ有効)
RXnD	:CH4 ボードセレクト Bit0	RYnD	:CH2 接点出力(移動平均選択時のみ有効)
RXnE	:CH4 ボードセレクト Bit1	RYnE	:CH3 接点出力(移動平均選択時のみ有効)
RXnF	:CH4 ボードセレクト Bit2	RYnF	:CH4 接点出力(移動平均選択時のみ有効)
RX(n+1)0	:予約	RY(n+1)0	:予約
RX(n+1)1	:予約	RY(n+1)1	:予約
RX(n+1)2	:予約	RY(n+1)2	:予約
RX(n+1)3	:予約	RY(n+1)3	:予約
RX(n+1)4	:予約	RY(n+1)4	:予約
RX(n+1)5	:予約	RY(n+1)5	:予約
RX(n+1)6	:予約	RY(n+1)6	:予約
RX(n+1)7	:予約	RY(n+1)7	:予約
RX(n+1)8	:イニシャルデータ処理要求フラグ	RY(n+1)8	:イニシャルデータ処理完了フラグ
RX(n+1)9	:イニシャルデータ設定完了フラグ	RY(n+1)9	:イニシャルデータ設定要求フラグ
RX(n+1)A	:エラー状態フラグ	RY(n+1)A	:エラーリセット要求フラグ
RX(n+1)B	:リモートREADY	RY(n+1)B	:予約
RX(n+1)C	:予約	RY(n+1)C	:予約
RX(n+1)D	:予約	RY(n+1)D	:予約
RX(n+1)E	: (予約：QnA)	RY(n+1)E	: (予約：QnA)
RX(n+1)F	: (予約：QnA)	RY(n+1)F	: (予約：QnA)

n：局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

入出力信号詳細

デバイスNo.	信号名称	内容
RXn0 ~ RXn3	:ボード実装/未実装フラグ	各ボードの実装状態をモニターし、実装でON、未実装でOFFとなる。
RXn4 ~ RXnF	:ボードセレクトビットフラグ	各ボードの実装基板種類を3bit使用しモニターする。 00:未実装 01:E熱電対基板 02:E±200℃基板 03:将来拡張用 04:MCT基板 05:K熱電対基板 06:TC基板 07:予約
RX(n+1)8	:イニシャルデータ処理要求フラグ	電源投入後、ハードウェアリセット後、機器がイニシャルデータの設定を要求するために、イニシャルデータ処理要求フラグをONする。 また、イニシャルデータ処理完了(イニシャル処理完了フラグRY(n+1)8 ON)後OFFする。
RX(n+1)9	:イニシャルデータ設定完了フラグ	イニシャルデータ設定要求(RY(n+1)9 ON)があった場合、イニシャルデータ設定完了後ONする。 また、イニシャルデータ設定完了時、イニシャルデータ設定要求フラグがOFFすると、イニシャルデータ完了フラグもOFFする。
RX(n+1)A	:エラー状態フラグ	機器が、ウォッチドグタイムエラー以外のエラー発生時に、ONする。
RX(n+1)B	:リモートREADY	電源投入後、ハードウェアリセット後、またはテストモード操作後、イニシャルデータ設定を完了し、DC電源のマイコンとの通信が完了したときにONする。 マスタユニットからの読み出し/書き込みのインタロックとして使用する。
RYn0 ~ 3	:CH1 ~ 4 REMOTE ON/OFF	CH1 ~ 4 TCボードの定電流源をON/OFFする。ONで出力。
RYn4 ~ 7	:CH1 ~ 4 MCT 1st/2nd	CH1 ~ 4 MCTボードの1st/2ndを選択する。ONで2nd。
RYn8 ~ B	:CH1 ~ 4 アナログ閾値/移動平均選択	CH1 ~ 4 リモートレジスタ設定値をアナログ閾値のセットポイントして接点出力を使用するか、センサA/D値の移動平均をとるかを選択する。ONでアナログ閾値。
RYnC ~ F	:CH1 ~ 4 接点出力	CH1 ~ 4 移動平均が選択されていたときに、PLCからのスルー接点出力として動作する。ONでフォトトランジスタON。
RY(n+1)8	:イニシャルデータ処理完了フラグ	電源投入後、ハードウェアリセット後、またはテストモード操作後の、イニシャルデータ処理要求時、イニシャルデータ処理完了後フラグをONする。
RY(n+1)9	:イニシャルデータ設定要求フラグ	イニシャルデータ設定時、または変更時に、ONする。 (DC電源のマイコンには、一切干渉しない。)
RY(n+1)A	:エラーリセット要求フラグ	エラーリセット要求フラグをONすると、エラー状態フラグ(RX(n+1)A)がOFFする。

n：局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

リモートレジスタ

マスター→リモート			リモート→マスタ		
アドレス	内容	デフォルト	アドレス	内容	デフォルト
RWwn+0	CH1 アナログ閾値/移動平均設定	0	RWrn+0	CH1 センサ A/D 値	65535
RWwn+1	CH2 アナログ閾値/移動平均設定	0	RWrn+1	CH2 センサ A/D 値	65535
RWwn+2	CH3 アナログ閾値/移動平均設定	0	RWrn+2	CH3 センサ A/D 値	65535
RWwn+3	CH4 アナログ閾値/移動平均設定	0	RWrn+3	CH4 センサ A/D 値	65535

n: 局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

リモートレジスタ信号詳細

アドレス	信号名称	内容																
RWwn+0 ~ RWwn+3	CH1 ~ 4 移動平均設定 または、アナログ閾値設定	<ul style="list-style-type: none"> シーケンサ CPU からの CH1 ~ 4 移動平均を行うためのデジタル値を書き込む。 下記の場合は、デジタル値が” 0 ”となる。 電源投入後、リモート READY が ON したとき シーケンサ CPU リセット後、リモート READY が ON したとき 設定出来るデジタル値は、7 ビットのバイナリ値で、 デジタル分解能の設定可能範囲とする。 <p>0 ~ 1 2 8 (7 B i t)</p> <p>b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td><td style="width: 10%;">-</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"> ----- 未使用 ----- ----- データ部 7 ビット ----- </p> <ul style="list-style-type: none"> アナログ閾値選択の時は 16BIT (2 の補数) となります。 なおアナログ閾値は、CC-Link 断でも値を保持し A/D 入力値が閾値を超えると接点出力を ON する。また、本ユニット電源断で閾値は 0 にリセットされる。 	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
RWm+0 ~ RWm+3	CH1 ~ 4 センサ A/D 値	<ul style="list-style-type: none"> CH1 ~ 4 センサ信号の A/D 変換されたデジタル値は、16 ビットのバイナリ値で表す。 <p>0 ~ 6 5 5 3 5 (1 6 B i t)</p> <p>b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td><td style="width: 10%;"> </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;"> ----- データ部 1 6 ビット ----- </p>																

n: 局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

- Ver 2. 0 R X n 0 - n F 未使用から機能追加 2007-04-16 H. MIURA
- Ver 2. 1 アナログ閾値と接点出力機能追加 2007-06-20 H. MIURA
- Ver 2. 2 R Y n C - F 接点出力指定修正、アナログ閾値補足説明追加 2008-05-12 H. MIURA